モバイルソリューションの現状と将来展望

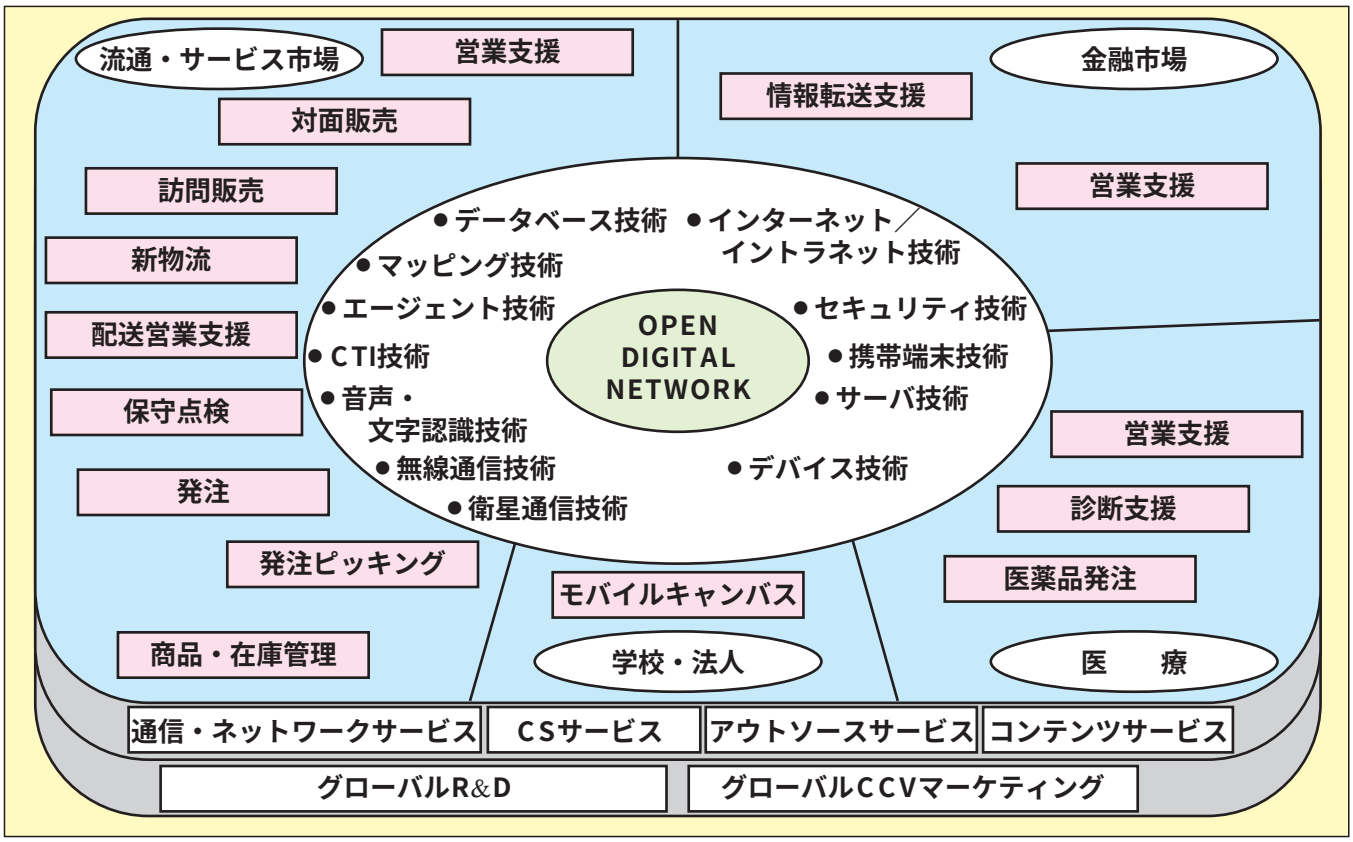
小川義高*
大高謙二*
村　雅之*

要　旨

ここ数年来のインターネットの普及に伴い，企業内LAN／イントラネットの構築による企業内情報電子化・共有化が着実に普及している。インターネットの普及は単に企業のグローバル化と企業内情報共有化を促すだけでなく，経営のスピード化を推進することになる。お客様ニーズの変化，市場構造や産業構造の変化に迅速に対応し効率的な変化への対応を行うことが，企業活動にとっての重要課題となりつつある。この経営のスピード化を達成するための解決手段として，モバイルソリューションが挙げられる。また，昨今の我が国の厳しい経済環境の中で激しい企業間競争を勝ち抜くために，モバイルソリューションを導入する企業は増えつつある。

三菱電機は，こうした背景の下，様々なバックオフィスソリューション，ネットワークソリューションと連携した様々なモバイルソリューションをお客様に提供している。

今後は，IMT−2000(International Mobile Telecommunicatios−2000)等による高速ワイヤレス環境の整備により，モバイルコンピューティングの普及が加速し，ニーズもますます多様化していくと考えられる。今後も，新しい技術を積極的に取り入れ，高速ワイヤレス環境に適合し，様々なお客様ニーズにこたえるモバイルソリューション製品を開発し，投入していく。



三菱電機の主なモバイルソリューション分野

三菱電機の Co.Solution とは当社が提唱するCCVソリューションで OPEN DIGITAL NETWORK をベースに構築されるソリューションで，モバイルソリューションは，“よりお客様に密着する”を実現する手段として位置付けられている。当社のモバイルソリューションは，様々な分野に展開しており，バックオフィスソリューション，ネットワークソリューションと連携したトータルなソリューションを提供している。